

投資事業評価調書（新規）

事業課名 (課名)	農林水産部 農林水産局農村環境課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	課長 村上 主直 (地域整備係長 中野光雄)	内線	3931 (3946)
--------------	---------------------	---------------------	---------------------------	----	----------------

事業種目	中山間総合整備	事業名	事業区間	総事業費	4.0億円
		中山間地域総合整備事業	大河内地区	うち用地補償費	0.7億円

所在地	事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
神河町大河内	H19	H19	H22

事業目的	事業内容
<p>中山間地域の果たしている食料供給機能や保養休養など多面的機能を保全し、定住を促進するため、農業生産基盤・生活環境基盤の整備を早急に進めるとともに、地域住民の活性化への取り組みを支援する。</p> <p style="padding-left: 20px;">神河町：山村振興指定、特定農山村指定</p> <p style="text-align: center;">事業主体：神河町</p>	<p>農業生産基盤整備 用排水路：L=1.2km 農道：L=3.4km [国:55%, 県:13%, 町:10%, 地元:22%]</p> <p>農村生活環境基盤整備（生活基盤） 集落道：L=1.4km 集落排水路：L= 0.2km [国:55%, 県:6%, 町:10%, 地元:29%]</p> <p>獣害防止柵：L=11.0km [国:55%, 県:6%, 町:10%, 地元:29%]</p> <p>農村生活環境施設整備 防火水槽：3箇所 [国:55%, 県:0%, 町:45%, 地元:0%]</p>

評価視点	評価結果の説明
(1)必要性	<p>大河内地区は、高齢化率（H17年）が27.7%と高く、老朽化した用排水路からの漏水や現況農道が幅員狭小で未舗装なため、農業生産性が悪く農地保全活動にも支障が生じている。</p> <p>そのため、老朽化した用排水路の整備、農道の拡幅、舗装整備を行うことにより、農業生産性の向上を図る。また、集落道の整備、防火水槽の設置により、安全な生活環境を確保し、鹿などによる農産物被害が多発しているため、獣害防止柵の整備を進める。</p>
(2)有効性・効率性	<p>事業実施により、主に下記の効果が期待できる。</p> <p>用排水路の整備により、用水管理に伴う維持管理費の軽減が図られる。</p> <p>農道整備による農作物の荷痛み防止、走行経費節減の効果がある。</p> <p>防災対策として集落道の整備、防火水槽設置により安全で快適な生活環境を確保する。</p> <p>獣害防止柵設置による農産物被害を軽減する。</p> <p>当地区の費用便益比B/Cは1.24で、事業効果が十分期待できる。</p>
(3)環境適合性	<p>用排水路整備において、水生生物が這い上がり可能なスロ - プを水路の横に設置して、生態系の保全に配慮した整備を行う。</p>
(4)優先性	<p>本地区は、農家の高齢化や棚田の農業生産基盤等が未整備なため、農業生産性が悪く農地の維持継続の危機に瀕している。そのため、老朽化した用排水路の整備、農道の整備を早急を実施するとともに、集落道の整備、防火水槽設置により安全な生活環境を確保する。</p> <p>また、鹿などによる農産物被害が深刻で、町では野生鳥獣被害対策協議会を設置しており、この対応も急務である。</p>